

議員定数・議員報酬を議論する上で市民の皆さまに知っていただきたいこと

議員定数について知っていただきたいこと

議員定数は、平成23年8月から施行された地方自治法の一部改正前は、市町村の人口に応じた上限数を超えない範囲において条例で定めることとされており、白石市の人口区分である2万人以上5万人未満の市議会の議員数の上限数は26人と定められておりました。そのため、この上限数を基準として各議会で議員定数を定めてきた歴史があります。

地方自治法の改正により、議員定数の上限数が廃止され、必要な議員の定数を各市議会が自ら定めることとなりましたが、白石市にとって、いかなる定数が妥当であるかについては、本市の面積や人口など、さまざまな地域の実情を考慮するとともに、市民の皆さんの多様な意見を的確に把握し、市政に反映させることができる議員定数である必要があります。

議会に必要な議員数の考え方

議会の監視機能の重要性…地方分権改革により首長（市長）の方針が施策に反映しやすくなっているため、市政を監視するための体制が重要です。

多様性・専門性の確保……多様で専門的な視点から政策の適否を判断したり、政策提言に結びつけるため、政策に対する議論を深めることが必要です。

委員会の審議能力発揮……白石市議会では2つの常任委員会と2つの特別委員会があり、各委員会での審議能力を発揮するためには、一定程度の人数が必要です。

白石市議会の議員定数の推移

- ① 昭和57年9月定例会で定数30人⇒26人（4人削減） ③ 平成18年2月定例会で定数24人⇒21人（3人削減）
② 平成10年9月定例会で定数26人⇒24人（2人削減） ④ 平成23年6月定例会で定数21人⇒18人（3人削減）

白石市議会の議員報酬の推移

- ① 平成8年12月定例会で報酬増額 議員：362,000円に改正
② 平成21年11月臨時会で報酬減額 議員：361,000円に改正

<参考> 県内の市議会（仙台市を除く）および白石市と類似する市議会の状況

▼県内の市議会

▼県外の市議会で人口が白石市と類似する市議会

自治体名	人口 (人)	面積 (km ²)	議員 定数 (人)	議員報酬 (円)	自治体名	人口 (人)	面積 (km ²)	議員 定数 (人)	議員報酬 (円)
石巻市	140,824	554.55	30	444,000	相馬市	34,274	197.79	18	375,000
大崎市	128,297	796.81	30	428,000	綾部市	32,851	347.10	18	365,000
登米市	77,392	536.12	26	398,000	大野市	32,324	872.43	18	357,000
栗原市	65,811	804.97	26	401,000	潟上市	32,282	97.72	18	360,000
気仙沼市	61,445	332.44	24	364,000	東かがわ市	29,628	152.83	18	400,000
名取市	79,655	98.17	21	395,000	南陽市	30,748	160.52	17	360,000
多賀城市	62,311	19.69	18	394,000	備前市	33,523	258.14	16	355,000
塩竈市	53,474	17.37	18	409,000	浅口市	33,965	66.46	16	400,000
富谷市	52,431	49.18	18	319,000	境港市	33,663	29.11	16	385,200
岩沼市	43,917	60.45	18	363,000	善通寺市	31,495	39.93	16	430,000
東松島市	39,588	101.86	18	348,000	平川市	30,708	346.01	16	360,000
角田市	28,212	147.53	16	353,000	大川市	33,376	33.62	15	360,000
白石市	33,082	286.48	18	361,000	上山市	29,564	241.00	15	360,000

令和2年12月31日現在